

それは秘密です。

(2020年改訂版)

作／檜原 拓

◎登場人物

小島 圭 (TKF) / 小島 健

藤原美紀 (TKF)

田村良人 (TKF)

マネージャー

橋本彩香 (小島圭の恋人)

浅川 (新聞記者)

野々村 (自衛官の遺族)

住田 (自衛官の遺族)

小島敦子 (小島圭の妹)

シヨウタ / 野々村翔太

ベテラン刑事

新米刑事

大島 (大島新島三宅島) ※小島圭・健と三役

新島 (大島新島三宅島)

三宅島 (大島新島三宅島)

※以下は本役の裏役として演じていても良い

みつる (ゲイバー・みつるのママ)

レン (みつるの店子)

ダイキ (みつるの常連客)

カズマ (みつるの常連客)

後輩芸人1

後輩芸人2

警視庁公安部の刑事たち

赤羽警察署の署員

お笑い芸人たち

1  
逮捕

小島圭が出てくる。

圭

ある日突然、逮捕されました。こんなこと言うと、なんかの小説みたいですけど、あのほら、カフカでしたっけ？ あの主人公が突然逮捕されて、最後虫になっちゃやうヤツ。そんな感じでホントに逮捕されたんです。何の前触れもなく。

あつ、自分は小島圭って言います。「小」さい「島」っていう字に、「土」を上下に重ねて書く「圭」っていう。イニシャルは、小島圭なんでK。K。あつ、そう言えば、そのカフカの小説に出てくる主人公も「K」っていうらしいですね。アルファベットの「K」。芸人仲間から聞かされたんですけど、文学とかに詳しい。

あつ、そうそう、自分、お笑い芸人やってるんです。売れない。もうすぐ四十なんですけど。某大手芸能事務所の養成所出身で、その同期の田村っていうのと藤原っていうのと、三人で「TKF」っていうグループやっています。というか、やってました。田村は男で、藤原は女です。男二人に女一人。珍しい組み合わせですが、昔、ドリカムがまだ出たての頃、まあ九十年代のはじめくらいですかね。自分、高校生だったんですけど、その頃って、男二、女一つ

というのが流行ってて、まあ言っちゃあそれにかぶれて……。つていうか、ドリカムが三人だつたつて、若い人知らないですよ。そうそう、ドリカムつて、元々は三人グループで、もう一人男がいて、名前はちよつと忘れちゃったけど、金髪のちよいワルな感じで。それがクスリかなんかで捕まっちゃつて。まあ、でもそれはそのちよいワルが脱退したあとの話で、あとから思えば、それを察知したメンバーだか事務所だかがバレる前に辞めさせたんじゃないかつて思うんですけど、まあどつちにしても、それでドリカムは今の二人になっちゃつたつていうわけなんですけど、まあ、ドリカムの話はどうでもよくて、男二人に女一人、今で言うところの、いきものがかり的な。そんな感じですかね。

ちなみに、「TKF」つていうのは、田村・小島・藤原の頭文字をとつてTKFなんですけど、まあ、それもうちらが学生だった頃に流行つてた小室ファミリーにあやかつて、つていう感じで……。T・コムロ・ファミリー的な？ まあ、でもなかなかこの世界は厳しいもんで、同期はどんどん売れて有名になっていくのに、うちらは全然で、後輩たちにもどんどん追い抜いて行かれるわで……。

二人の後輩芸人が出て通り過ぎる。

後輩 1

今日昼飯どうする？

後輩 2 オレ今日「ヒルナンデス」なんだよね。

後輩 1 そつか……。

後輩 2 明日は？

後輩 1 あー……明日オレ「徹子の部屋」なんだよ。

後輩 2 そつか……。

後輩 1 明後日は？

後輩 2 明後日はオレ「ドラえもん」なんだよね。

後輩 1 ドラえもん？

二人の後輩芸人、去る。

圭 つまんないとは思わないですよー自分らのこと。つか、面白いときえ思います。自分

で言うのも難ですけど。まあ実際に、超有名な先輩芸人が自分らのことを気に入ってくれて  
るって話も聞くし、でもちよつと万人ウケはしないっていうか、客を選ぶっていうか、どつ  
ちかって言うと、玄人ウケするようなそんな芸風で……。

TKFのメンバーが出てきて、玄人ウケしそうな一発ギャグをやって去る。

圭

まあ、こんな感じで、若干テレビとかでは敬遠されるようなそんな感じだったんですね。でもそんなうちらにもようやくチャンスが巡ってきたんです。芸歴二十年以上の、なかなか売れない芸人を集めた「O1(オーワン)グランプリ」っていう番組があつて、O1の「O」っていうのは、O1dの「O」なんですけど、そこでなんと予選を勝ち抜いて決勝に進出することになったんです。優勝すれば賞金一千万円。優勝しなかつたつて、ゴールデンで全国に流れますから、知名度アップで、仕事増えるのは間違いなしです。当然、テレビのレギュラーも夢じゃありません。バイト生活卒業です。人生一発逆転の大チャンスです。しかしです。そんな大事な時に事件は起きました。O1グランプリの本番二日前、リハーサルに向かおうと準備していた午後一時半すぎ、玄関のチャイムが鳴りました。

SE「チャイムの音」

背広を着た数人の男(刑事)たちが出てくる。

圭 開けると、そこには背広の男が数人立っていました。その内の一人が私にこう尋ねました。

圭 小島圭さんですね？

圭 はい。そうですけど。

## 刑事

(警察手帳を提示し) こういうものですが……(懐から逮捕状を取り出し) 暑までご同行願います。

## 圭

ハッ？って感じでした。一瞬何が起こってるんだがよく呑み込めませんでした。そのまま数人の男が私を取り囲み、家宅捜索が行われ、あれよあれよという間に私は車に乗せられました。覆面パトカーでした。その中で、逮捕状が読みあげられました。突然のことで、頭の中が真っ白になり、あまりよく理解できませんでしたが、「秘密」という言葉だけはハッキリ記憶しています。どうやら私は何か「秘密」に関する罪を犯したということのようでした。手錠がかけられ、午後一時四十三分、私は逮捕されました。

小島圭、刑事たちに連行されて行く。

2 圭の行方

TKFメンバーの田村良人が出てくる。

田村

リハーサルは午後三時からでした。局のスタジオを自由に使わせてもらえるっていうことで、それまでは公園とかを転々として、そんなんで練習してた感じなんですけど、さすが決勝つーことでメチャクチャいい待遇で、気合い充分でスタジオ入りしたんですね。それはいいんですけど、でも時間になっても圭が来ないんですよ。自分たちコントなんですけど、ネタはほとんど圭が書いてて、まあ、今までもネタづくりが押したりとか、コピーに時間とられてるとか、まあ、なんやかんやで三十分は押すような感じだったんですけど、その日は一時間経つても来ないんです。さすがにコリヤおかしいなと思って、LINEとかメール送っても全く反応がなくて、電話してみるってことになって……。

TKFメンバーの藤原美紀が出てくる。

美紀

電話をかけたのは私・TKFの藤原美紀です。でも、圭は出ませんでした。コールはするんですけど、応答なくて、しばらくすると留守電になって。時間をおいてかけてみたんですけど、やっぱり出なくて。

## 田 村

そうだ、ツイッターだ！って思って見てみると、最後は午後一時二十七分でした。「これからリハーサル行って来ます！ 気合いで頑張ります！」って書かれてあって、おまけに自撮りまでついてて。格好は出かける時の格好で。全身しまむらなんですけど。ってことは、家を出る寸前だったってことだと思えます。何かあったんじゃないのか、事件とか事故に巻き込まれたんじゃないかねえのって思って、ニュース確認したんですけど、特に何が起きているってこともなくて。

あつ、申し遅れましたが、自分はTKFの田村良人って言うんですけど、自分と美紀は、とりあえず、圭の住むアパートに行ってみようということになりました。圭のアパートは埼京線の赤羽の隣の北赤羽ってところなんですけど、お台場から北赤羽まではちょうど埼京線直通のりんかい線一本で行けて、乗換案内だどだいたい四十五分くらいなんですけど、お台場からの埼京線っていうのが本数がやたら少なくって、うちら焦っていたっていうのもあって、あと埼京線なんて普段乗らないからよく分かんなくって、うっかり北赤羽には停車しない快速に乗っちゃったんですね。しかもそれが快速の中でも通勤快速っていうやたら飛ばす電車で、気づいたら荒川超えてて、埼玉ですよ、埼玉。武蔵浦和って、五つ先の駅まで行っちゃって、でヤバイって思って、上り方面のホームに止まったた電車に飛び乗ったのはいいんですけど、

それがまた通勤快速で、また北赤羽通り越し今度は赤羽まで行っちゃって、で、また戻って……結局倍近く時間かかっちゃいました。

美 紀 圭のアパートに辿り着いたのは六時を回ってました。真夏でまだ外は明るかったんですけど、圭のアパートは入り組んだ路地裏にあって、陽当たりも悪くて、その時間には電気をつけても良さそうな感じで、でも電気は点いてませんでした。鍵もすっかりかかってて、人の気配もなくて、チャイム鳴らしても応答はありませんでした。

田 村 台所の窓が鍵かかってなくて、格子がついてるんで中には入れなかったんですけど、そこ開けて中覗いてみました。ワンルームで部屋全体をザッと見渡せる感じだったんですけど、圭はいないし、特に変わった様子もなくて、ために圭に電話をかけてみたら、表にあった自転車のカゴの中からそれが鳴りました。

美 紀 もしかすると、行き違いで、圭はスタジオにもう来てんのかもしれない、テレビ局広いから、携帯も忘れて、迷子になってんのかもしれない、私はそう都合良く解釈しました。

田 村 ただ、もしそうなら、こんなに時間経ってるわけだし、事務所に連絡くらいあってもよさそうでしたが、それありませんでした。

美 紀 途方に暮れてると、そこに一人の女性が現れました。圭と同棲してる彼女・橋本彩香さんでした。

圭の彼女・橋本彩香がやって来る。

彩香 あれ？ TKFの……。

田村 あっ、はい。

彩香 ああーいつも圭ちゃんがお世話になってます。

田村 はあ、どうもどうも。

彩香 ライブいつも見えます。

田村・美紀 あっ、ありがとうございます。

彩香 私、美紀さんのボケすっごい好きで、ちょっとブラックですけど、すごい面白いですよね……あの、いつも応援してます！

美紀 あっ、ありがとうございます。

田村 ありがとうございます。

彩香 あれ？ 今日って……。

美紀 事情説明したんですけど、彩香さんも圭については何も知らないようで、事務所とか番組ス

タッフにも聞いてみたんですけど、やっぱり圭は来てないようでした。立ち話も難なので、

とりあえず、こちらは彩香さんと一緒にアパートに入って、どうしたら良いものか考えました。

田 村 事務所ではちよつとした騒ぎになってたようで、少ししてマネージャーがやってきました。

マネージャーがやって来る。

マネージャー おいおい、どうなっちゃってるんだよ。

田 村 マネージャーって言っても、もちろんうちら専属ではなくて、何人か抱えている内の、うちらはある意味どうでもいいような部類だったんですが、さすがにオーグランプリの決勝まで残ると、家まで来るんだなって、それはちよつと嬉しかったです。

マネージャー 番組に穴空けたら大変な事だぞ。

美紀・田村 はあ……。

マネージャー なんかないのか、心当たりとか。

田 村 いや……。

マネージャー 行つてそうなことか。

美紀 だけど、もうこんな時間だし、携帯置きっぱなしだし……。

マネージャー じゃあやっぱりバックレたってことか？

田村 さすがにでもそれはないんじゃないですかね。携帯も置きっぱなしだし。

美紀 やっぱり事件とか事故とか……なんか、血痕とか残ってんじゃないの？

彩香 えっ？

田村 マジかよ。

マネージャー 血痕血痕！

一同、床の血痕を探す。

田村 残念ながら血痕なんてありませんでした。もし、なんかの事情で、圭がバックレたってこと  
にでもなれば、せつかくのチャンスが台無し。もうこちらは再起不能、最悪解散。事務所もク  
ビ。無事であつてほしいとは思うけど、バックレるくらいなら、せめて、せめて事故や事件に  
巻き込まれてくれ！って、マジそう思いました。

マネージャー なんなんだよ、こんなんなら、なんか事件とかに巻き込まれてもらつた方がよっぽど  
マシだよ。

美紀 えっ？ マジすか？

マネージャー マジだよ！ だって事件とか事故とかなら、言い訳できるもん。真つ当な理由じゃん。監禁されたとか。車にハネられたとかさあ、高齢ドライバーに。

美紀 でも……。 (田村に) ねえ。

田村 ああ……。まあ……。

彩香 ええ……。もしそうだったとしたら……。

美紀 でもさつき調べたけど、何にも今日は起きてないみたいですよ。

マネージャー ダメか……。

彩香 あっ！

一同 ん？

彩香 もしかして……。

田村 どうしたんですか？

彩香 あのー。実は私、今、圭ちゃんと別れ話してるところなんです。

一同 ん？

彩香 切り出したのは圭ちゃんの方なんですけど。理由聞いたらお笑いに集中したいって、そういうことみたいで。

一同 はあ。

彩香 つき合って三年になるんですけど、最近じゃあ、体の関係はまったくなくなってる、友達みたいな感じになって、だけど、別に別れなくなってるって集中できるじゃんって私は思って、納得できなくて、ズルズルズル……そのまま話は平行線を辿ったままで。かといって、避けられたり嫌われてるっていうような感じもなくて、出て行けとか、あるいは圭ちゃんが出て行くとかそういうこともなくて……。

一同 はあ。

マネージャー ああ、それが何か関係ある？

彩香 えっ？

マネージャー いや、小島がいなくなったことと、その別れ話。

彩香 ああーまあ。

田村 関係あるんだ。

マネージャー うん、まあ、いいんだけどさあ、もうちょいかいつまんで話してもらえないから。時間ない

彩香 ああーはい、すみません。じゃあかいつまんで……。

マネージャー うん。

彩香 ネットで検索してみたんですね。

田村 圭がいなくなったことを？

彩香 いやいや。あの、圭ちゃんがなぜ私と別れようとしてるのか。

美紀 えっ？ そんなことネットで検索すると出てくるの？

マナージャー つーか、別れ話の話は必要なの？

彩香 いや……。

マナージャー もつとさあ、単刀直入にさあ、核心部分について話してもらえないかなあ。

彩香 核心部分ですか？

マナージャー うん。簡潔にね。

田村 彩香さんの話をかいつまんで話すところいうことでした。なぜ圭は彩香さんと別れようとして

ているのか、その手がかりをネットで検索してみたら、検索候補に次のようなワードが出て

来たらしいです。「小島圭 オネエ疑惑 ゲイ」。

美紀 私もなんかそんな噂聞いたことはあるんです。だけど、レディースサイズが着れるというこ

と以外に特に圭の中にゲイ的な要素はあるとは思えず、第一、彼女いるわけだから、まあ、そんなこんなであまり気には留めてませんでした。

田村

実は私、圭とそういう関係もったことがあります。とは言っても一回だけ、ホンの触り程度です。随分前に、TKF結成したての頃、もう十年以上前の話です。若気の至りというか、なんというか、芸人なんだし、女も男も知っとけみたいな。人類愛みたいな。煽られたんですよ、先輩に。でも、その時分かりました。自分は男は無理だと。それは圭も同じだったらしく、結局その時は最後までいくことはなく、なんちゃって……てな感じで終わって……。自分は彼女いるし、圭にも彩香さんがいるわけだし、まさか圭がそつちにめざめてしまっていたなんて思いもしませんでした。

美紀

彩香さんは、遠回しに、遠慮がちではあったんですけど、ネット上にあつた圭のゲイ疑惑を私ら、というより田村に突きつけました。それどころじゃないだろ！って思いました。

彩香

こんな時にどうかなと、後になってみたら思います。だけど、目の前にいっちゃあ、当事者がいるんですから、このタイミングを逃す手はありません。それに、こういうことが圭の失踪につながっている可能性だってある、いや、そうに違いない！ その時の私はそういう風にしか考えられなくなりました。

勘弁してくれと思いました。

美田  
紀村

それは私のセリフです。私の知らない間に、一回とはいえ、二人がそんな関係になっていたなんて……。コントのいろんな場面が思い浮かんで、別の意味が頭をよぎりました。

別の意味が頭をよぎるようなコメント。

マネージャー はいはい。もうヤメヤメヤメ！ こんな時に争ってる場合じゃないだろ！ もうヤツが  
ゲイだろうがなんだろうが、どうでもいいわ！ つーか、小島の行方！ それが重要でしょ！  
それが大事でしょ！ どこ行っただよ、小島は！

美紀 もしかすると、その「小島圭 オネエ疑惑 ゲイ」の先に何か手がかりがあるかもしれない  
と思い、さらに調べてみると、とあるゲイバーでの圭の目撃情報に行き当たりました。  
田村 というわけで、新宿二丁目のゲイバー「みつる」にやってきました。

転換。

3 ゲイバー「みつる」

新宿二丁目のゲイバー「みつる」。  
ママのみつると、店子のレン、カウンターを挟んで常連客のダイキとカズマ、隅の方にも男が一人(シヨウタ)いる。  
田村とマネージャーが入ってくる。

みつる いらつしやーい。

レン いらつしやいませー。

田村 ど、どうも。

みつる こちらどうぞ。

レン おしぼりどうぞ。

田村 あっ、はい。

みつる あれ？ お初ですよね？

マネージャー あっ、はい。

レン 何にされます？

マネージャー ああ、じゃあ、ビールで。

田村 じゃあ、自分も。

レン はい。

みつる (名刺を出して) どうもはじめまして。ママのみつるって言います。ミッチーって呼んで下さい。

田村・マネージャー はあ……ミッチー……。

レン レンって言います。よろしくお願いします。

田村・マネージャー どうも……。

みつる 二丁目はよく来られるんですか？

田村・マネージャー いやいやいや……。

田村 初めてです。

みつる あっ、そうなんです。どうやって知ったんですか？ この店のこと。

田村 あのー、小島圭ってご存知ですかね。

みつる 小島圭？

田村 はい。

みつる 知ってる？

レン 小島圭？

みつる ……ごめんなさい。ちょっと分からないみたい。

田村 (写メを見せて) あのー、こういうヤツなんですけど。

レン あれ? もしかして……ほら、ママ、あれよ、あれ。

みつる 何?

レン ケンちゃん。

みつる ケンちゃん? 洗濯屋?

レン 違うわよ。ほら、いつつも前髪系の男子連れてる。ジュノン専の。

みつる ああー……ケンちゃんね。

レン 何よ、洗濯屋って……。

みつる そういえば、最近見かけないわね。

田村 ああー……。

ダイキ どれどれ見せて? (写メを見る) あらやダ、イケメン!

カズマ あれ? この人知ってる。

田村・マネージャー えっ?

マネージャー どこで見たんですか?

カズマ テレビに出てなかった?

ダイキ テレビ?

田村・マネージャー 出てます、出てます。

カズマ あれでしょ、お笑いの人でしょ。

田村・マネージャー そうですそうです。

レン えっ？ ケンちゃんお笑いやってんの？

みつる あれ？ 自衛官じゃなかった？

マネージャー 自衛官？

カズマ お笑い芸人よ。あたし見たことあるもん。

田村 TKFって言うんです。

カズマ そうそう、TKFTKF。

みつる・レン へえー。

カズマ 今度出るのよね、なんとかグランプリって。

田村 OIグランプリです。

ダイキ OIグランプリ？

みつる なにそれ。

カズマ なんか売れない芸人がさあ、芸歴二十年だか、三十年だかの、そういうのが集められてさあ、  
そんな中から一番決めるんだって。

ダイキ えっ？ 誰が一番売れてないか？

カズマ 違うわよ。誰が一番面白いか。

ダイキ そうなの？ それ面白いの？

カズマ さあ。

ダイキ だって、二十年とか三十年とかやってて芽が出ないわけでしょ。さっさと諦めた方がいいんじゃないの？

みつる そんなこと言わないのよ。一所懸命やってるんだから。

カズマ (田村をよく見て) あれえ？

一同 ん？

カズマ あの、もしかして、TKFの人ですか？

田村 あっ、はい。相方の田村です。

カズマ ああーやっぱり……(みんなに) 相方相方、ケンちゃんの。

ダイキ えっ？ そうなの？

カズマ うん。

ダイキ ヤダ、ちょっとそれ早く言ってよ。なんか、あたしスゴイ毒吐いちやったじゃない。いつものことでしょ。

みつる 相方なんだー、ケンちゃんの。

田村 はい。

マネージャー さつきっからケンちゃんって何なんだよ？

田村 圭のことですよ、きつと。

マネージャー なんで圭がケンちゃんなんだよ。

田村 さあ。

みつる まあ、いろいろ差し障りあるでしょ。仕事とか。

田村・マネージャー ああー。

みつる 結構、みんな普段はフツの仕事してる人多いから。

田村 へえー。

みつる でも意外よね。

レン 何が？

みつる だってジャニ・スリム専じゃなかったっけ？ ケンちゃん。

レン ジュノン・スリム専よ。

みつる ジャニでもジュノンでもどっちだっていいけどさあ。

レン よくないよくない

みつる こういうガッチリ系もイケルのね。

ダイキ でもホント、ステキな腕してますね。

田村 あっ、そうすか？

ダイキ ちよつと触ってもいいですか？

田村 ああ、まあ……。

ダイキ (腕に触り) やだちよつとスゴイ。

レン (腕に触り) ホントだ。硬い。これヤバイ。

田村 いや、ちよつと……あのー、自分、そういうんじゃないんで……。

ダイキ えっ？ ノンケ？

一同 えっ、そうなの？

田村 ああ、はい。

みつる だってケンちゃんの相方なんでしょ。

田村 あっ、まあ……。

レン ノンケじゃないじゃない。

田村 彼女、いますんで。

一同 ええ？

ダイキ      バイ？ 二股？

マネージャー      解説します。どうやら、このオカマたちは、お笑いの相方とこっちの世界の相方とを混同して、小島と田村がつき合っていると勘違いしていたようでした。このゲイバーのくだりは本当にどうでもよくって、要は小島がここにいるかどうか、そこを確認すれば良かったはずなんです。なんとというか、店の空気に飲まれたというか、あるいはちよつと一杯だけ飲みたかったっていうのもあったんでしょうか。でも一杯だけというのが一杯で済むはずもなく、なんやかんやで店を出た時には午後十時を回っていました。小島がいなかったということは言わずもなです。

マネージャー      (田村に) ほら、行くぞ。

田村      あつ、はい。

田村とマネージャー、店を出る。  
ショウタ、そのあとを追うように去る。

みつる      ありがとうございます！

レ  
ン

決勝、頑張ってくださいね！

転換。

4 ショウタ

圭のアパート。  
美紀と彩香がいる。

美紀

私と彩香さんはゲイバーへ行くのも難だし、圭が戻ってくる方が一の可能性も考えてアパートで待機していました。すると、そこへ見知らぬ二人の女性が尋ねてきました。

SE「チャイムの音」

二人の女性（野々村と住田）がやってくる。

野々村

ごめんください。

彩香

あつ、はい。

野々村

夜分遅くに申し訳ありません。

彩香

はあ。

野々村

あのー小島圭さん、いらっしやいますでしょうか？

彩香

あー……あの、ちよつと今出ているんですけど。

野々村

あーそうでしたか……。

住 田 何時頃お帰りでしょうか。

彩 香 さあー……今日はもしかすると帰らないかもしれないんですけど。

野々村 あー……明日はいらっしゃいますかね。

彩 香 さあー……ちよつとそれは……。

野々村 ああ、そうですね……じゃあ、またうかがいます。

彩 香 はあ。

野々村 どうもお邪魔しました。

住 田 失礼します。

野々村と住田、去る。

美 紀 まあ、今の二人はのちのち改めて登場することになるのですが、それはひとまず置いておく

として、この時点では何よりも圭の行方です。ゲイバーの他にも、バイト先の牛井屋、ネタ出  
しでよく利用するファミレス、仲の良い芸人の家、いろいろとあたつてはみましたが、やは  
りこれといった手がかりはありませんでした。

彩 香 やっぱり、事件に巻き込まれたんじゃないですかね。

美 紀

あー……。

彩 香

警察行つて捜索願とか出した方がよくないですか。

美 紀

というわけで、警察署に出向くことになりました。歩いて四十分、タクシーで五分。赤羽警察署です。私は四十分くらいなら……と思っただんですが、彩香さんがあり得ないというので、泣く泣くタクシーしました。

赤羽警察署。

警察署員が出てくる。

警 察

失礼ですけど、その方とはどのようなご関係でしょうかね。

彩 香

私は、あの、その……つき合っている彼女です。

警 察

あー、なるほど。(メモを書きながら) 恋人と……。そちらは。

美 紀

あー、私は、なんとというか、友人？ あつ、仕事仲間ですな。

警 察

あー、なるほど。(メモを書きながら) 職場の同僚と……。えーつ、ご家族の方はいらつしやいませんかね。

彩 香

あつ、あの、私、一緒に住んでるんで、まあ家族といえば家族ですな。

警察

でも籍は入れてらっしゃらないでしょ。

彩香

ああーはい……。

警察

ご家族の方はいらっしゃらないんですかね。配偶者か、あるいは血縁者か。

彩香

今は特に……。

警察

ああ……でしたら、お受けすることはできないですよね。

彩香

えっ？ そうなんですか？

警察

はい。

彩香

えっ？ だって、事件とかに巻き込まれてるかもしれないんですよ！

警察

はい。

彩香

はいって……。なんとかならないんですか？

警察

まあ……基本的にですね、ご家族の方でないとはですね……。

彩香

いやあの、実家が長野なんですよ。しかも片親で、お父さんなんですけど、あまり身体もよく

なくて、妹さんが看病されてて……あの、代理とかじゃダメなんですか。

警察

ああ、はい。

彩香

何ですか？

警察

いやー、そういうことになってるもので……申し訳ございません。

美紀

えっ？ どうしてもダメなんですか？

警察

はい。

美紀

人の命に関わるかもしれないんですよ。

警察

……はい。

彩香

何ですか！

警察

申し訳ございません。

彩香

訴えますよ！

警察

……はい。

美紀

まあ、彩香さんの取り乱し方もどうかなって感じでしたけど、警察は「はい」と「申し訳ございません」を多少のイントネーションを変えて巧妙に繰り返すばかりで、まったく埒があきませんでした。往復のタクシー代を返してもらいたいと思いました。

警察署員、去る。

圭のアパートに移る。

マネージャーと田村が出てくる。

マネージャー　いくらだよ。

美　紀　片道九八〇円です。

マネージャー　なんだよ。

美　紀　給料日前なんです。

マネージャー　バイト？

美　紀　はい。

マネージャー　なんのバイトしてんの。

美　紀　コンビニです。

マネージャー　へえー。時給いくら。

美　紀　一一〇〇円です。

マネージャー　一一〇〇円！　安っ！

田　村　えっ、結構いいじゃん。

マネージャー　えっ、お前いくらなの？

田　村　九八〇円です。

美紀・マネージャー　九八〇円！？

田　村　はい。

美紀 えっ？ それ最低賃金以下じゃん。

田村 えっ？ そうなの？

美紀 うん。それ言った方がいいんじゃない？

マネージャー どのバイト？

田村 ○○○○です。

マネージャー ああー。

田村 これでもねえ、上がったんですよ。

美紀 あたしだって上がったわよ。最初六八〇円だったんだからね。

一同 六八〇円！？

田村 いつからやってんの？

美紀 高三の時からだから勤続十八年だ。

田村 やべえ。

美紀 あの当時はそんなもんよ。

マネージャー お前らさあ、そんな時給がいくらとか、勤続何年だとか、そんなせせつこましいままでいいのかよ。悲しくなってくるよ。そういうの卒業しようよ、もう、なあ……という絶好の機会を前にしてだね、なんでこうなるんだらうね。

田村 ついてねえなあ。

美紀 なんか、いつだってこうよね。

彩香 圭ちゃん、どこで何してんだろう。

美紀 こうして、なんの手がかりも掴めぬまま、夜が更けました。そして翌朝、O1グランプリ本番

前日の朝、雑魚寝のアパートにチャイムが鳴り響きました。

SE「チャイムの音」  
シヨウタがやって来る。

美紀 寝ぼけ眼で彩香さんが立ちあがり、玄関を開けました。若い男が立っていました。

彩香 はい。

シヨウタ すみません。

彩香 はい。

シヨウタ ここ、小島さんのお宅ですよ。

彩香 あっ、はい。そうですけど。

シヨウタ はじめまして。自分、ケンちゃんと親しくさせてもらってるシヨウタって言います。

彩香 ケンちゃん？

シヨウタ はい。

彩香 ケンちゃん？

シヨウタ はい。僕はシヨウタ。

田村 あれ？ もしかして、そっち系の？

シヨウタ はあ、まあ……。

美紀 何そっち系って。

田村 そっち系だよ。そっち系。

美紀 ああー。

彩香 あたし、圭ちゃんと同棲しているんですけど。

シヨウタ ああー、ケンちゃんとね。

彩香 圭ちゃんです。

マネージャー えっ？ 何なの何なの、君は何なの。

シヨウタ あのーケンちゃんに頼まれて。

美紀 えっ？ 圭の居所知ってるの？

一同 ええっ!?

彩香 えっ? どこにいんのよ。

シヨウタ それがですねえ。

彩香 何があつたの?

田村 そこで初めて圭が逮捕されたということを知りました。

一同 逮捕!?

シヨウタ はあ……。

美紀 逮捕と聞いて、頭が真っ白になりました。うちらはオーグランプリに出られるのか? 圭のことより、そのことで頭がいつぱになりました。

田村 なんで圭が逮捕なんてされるんだ? 自分と美紀には何も思い当たる節はありませんでした。私にもありません。痴漢か何かに間違われたんでしょうか? だけど、圭ちゃんはホントはゲイらしいので、女には興味がないはずです。でも待って? なのに、なんであたしとつき合っていたのだろうか? それより何より、このシヨウタという子は一体何者なんだろう。

私の頭は、逮捕・圭・ゲイ・逮捕・圭・ゲイ・なのに女とつき合う？ ショウタ？ つて感じ  
で大混乱でした。

マネージャ― それはさておいて、なんで捕まったんだ？

田村 何をしたの圭は。

ショウタ それはちよつと僕もよく分からないんですけど……。さつき弁護士の人から電話があつて……。

彩香 なんで？

ショウタ はい？

彩香 なんで、あなたのところ電話が来るわけ。

ショウタ まあ、親しくさせてもらってるんで。

彩香 はあ？

美紀 いろいろと話を聞いていくと、どうも圭はスマホを二台持ちしてるらしく。そんなことは私もこの時に初めて知ったわけですけど。言うなれば、こつちの世界と、あつちの世界とで使い分けているらしく。逮捕された時に持ってたのがあつちのスマホで、そこにはあ

うちの人の連絡先しか入っていないなくて、そんなこんなで、このシヨウタという子に連絡が入ったみたいです。どれだけ親しいんだか、そこは敢えてツツコミませんでした。

シヨウタ　とりあえず着替えを持ってくるように言われたんで、それ取りに来たんですけど……下着と  
かつてあります？

彩香　下着って……それはあたしが持つて行きます！

シヨウタ　ああ、いいですよ、頼まれたんで。

彩香　一緒に住んでるんで。

シヨウタ　親しくさせてもらってるんで。

彩香　！？

田村　僕らもついて行っていいですか？

シヨウタ　ああ、まあ、はい。

美紀　警察っていうから、その辺の警察署だとばかり思ってたら、行きついた先は霞ヶ関の官庁街、桜田門駅にある警視庁でした。

田村

桜田門って、「桜田門外の変」の桜田門ってことを初めて知りました。なぜこんなところに？  
って、とても不安に思いました。

彩香

駅から地上に出ると、有楽町のビックカメラ、昔そごうだった、あれに似たちよつと台形っぽい形の建物が目の前にドーンとそびえていました。目的地は警視庁公安部です。

転換。

5 取調室（1）メルカリ

警視庁の取調室。

ベテラン刑事と新米刑事と圭。

ベテラン　なんで捕まったか、分かってるよな？

圭　いや、ちよつと心あたりないんですけど。

新米　しらばつくてんじゃねえよ！　お前がやったんだろ、お前が！

圭　いや、あの、しらばつくれるも何も……何をしたって言うんですか、僕が。

ベテラン　まあ、いいよいいよ、ゆつくり思い出して行こう。ゆつくり。ゆつくりなあ。ただ、さつさと

思い出さないと、どんどん時間が経って、いつになったら帰れるのかねえ。

新米　早く思い出せ！！

圭　あのー、僕が一体何をしたって言うんですか？　思い出せって言われても、何も悪いことなんてした覚えはないし、何もしゃべることなんかありませんよ。

ベテラン　ホントに覚えはないのか？

圭　はい。

新米　なんかあるだろう！

圭 なんかって……あの、僕は一体何で捕まったんですか？

新米 しらばつくれんな！

圭 しらばつくれてなんかいいですよ。ホント、分からないんです。お願いです。教えてください。

ベテラン しょうがねえなあ。じゃあ少しだけヒントを与えてやろう。

新米 えっ？ デカ長、いいんすか？

ベテラン まあ、いいよ。少しだけだ、少しだけ。

新米 いや、でもしかし。

ベテラン 大丈夫大丈夫。

新米 出血大サービスだからな！

圭 な、なんですか？

ベテラン なんか、送ったらしいな？

圭 送った？

新米 送ったんだよ！ お前は送ったんだ！

圭 あっ……。

ベテラン 何か思い出したか。

圭 もしかして、メルカリですか？

ベテラン メルカリねえ……。

圭 違いました？

ベテラン そうかもしれないなあ。

圭 えっ？ 違うんですか？ 何なんですか？

ベテラン まあまあ、そう焦るな。

新米 焦ってんじゃないやねえよ。

ベテラン メルカリがどうしたんだ？

圭 チケットの……。

ベテラン チケット？ チケットがどうしたんだよ。

圭 いや……。

新米 ハッキリ言え！ ハッキリ！

ベテラン オレらが教えてやっても構わないんだよ。ただ、君の口から自発的に言った方が判決に有利

に働くよ。

新米 さっさと言え！

ベテラン チケットがどうしたんだ？

圭 チケットを売りました。

ベテラン 何のチケット？

圭 ○○○○（人気アイドル）の西武ドームの。

新米 えっ？ ○○○○の西武ドーム！？

ベテラン 何だお前、好きなのか、○○○○。

新米 あっ、はい。あの、ファンクラブ会員でもなかなか手に入れることの出来ない、貴重なチケット

トであります。自分も抽選に漏れました。

ベテラン ほおー、ってことは、それを売ったってわけだから、君は○○○○のファンではないわけだ

ね。

圭 まあ、嫌いじゃないですけど。

ベテラン じゃまあ、ハナから売る目的で購入したと。

圭 はい。

新米 許せんですねえ。

ベテラン で、そのチケットはいくらしたの？ 元々は。

圭 いや、ハッキリとは覚えてないんですけど。

新米 デカ長、定価九二〇〇円です。

ベテラン 九二〇〇円、間違いないか？

圭 おそらくそのくらいだったと思います。

ベテラン それをいくらで売ったんだ？

圭 ハッキリとは覚えてないんですけど、おそらく最終的には五万ちよつとで。

新米 五万ちよつと！？ 貴様！

ベテラン 四万くらい儲けたわけだ。

圭 はい。

ベテラン 当然、知ってて買ったわけだろ。転売目的で。

圭 まあ……。

ベテラン それは都の迷惑防止条例違反だねえ。

圭 すみません。

ベテラン まあ、それはそれとして、別件で扱うとして。

圭 はっ？

ベテラン 他にあるだろう。思いあたることが。

圭 ええー……。

転換。

6 圭の罪

圭のアパート。

田村と美紀と彩香とマネージャーとショウタが戻ってくる。

田村

結局、圭に会うことはできませんでした。逮捕後四十八時間は弁護士以外、接見禁止。さらに弁護士さんの話では、このままだと最低十日は出られないだろうということでした。逮捕されて二十時間、O1グランプリ本番まで残り二十八時間、リハーサルなんかも含めると二十四時間以内に圭が釈放されなくてはO1グランプリには出られません。もう出演は絶望的でした。

美紀

それにしても、分からないのは、圭がどんな罪を犯したのかわかるということ。それについては圭自身もどうやら全く身に覚えはないらしく、またその肝心な部分については弁護士さんもすごい歯切れ悪くて、あやふやな答えしか返ってきませんでした。

田村

それを見てたら「歯切れの悪い弁護士」っていう新ネタが思い浮かびました。

「歯切れの悪い弁護士」というネタが披露される。

マネージャー ネットはいいから！ ネットは！ ネットより、このピンチをどうすべきか、それ考えないと

……ホントヤバイよ、ホントヤバイ……何か策を考えよう、策を……。

彩香 二十四時間以内に圭ちゃんが釈放されればいいわけですよ。それまでに、圭ちゃんの疑いを晴らせば良いわけですよ。

美紀 まあそうだけど……でも、なんで捕まったのかも分からないのに、疑いを晴らすって言ってもねえ。

マネージャー なんかないのか？ 小島がやってそうなの……なんか、犯罪だよ、犯罪。

一同 ええー……。

田村 クスリとか？

マネージャー えっ？ ヤツ、そんな手出してんのか？

田村 いやいや……。

彩香 やってるわけないじゃないですか。

田村 例えばですよ、例えば。

マネージャー もしやってたとしたら、一発アウトだからな。

彩香 圭ちゃんはそんなものに手を出すような人じゃないです。そんなの見たこともないし。

シヨウタ 僕もそう思います。ケンちゃん、普段からドラッグとかそういうのすごい嫌がってたし、H

IVとか、そういうのもあるから、かなり気を使ってたはずです。

彩香 HIVって……。

マネージャー じゃあまあ、クスリはないとして、他だよ、他。

田村 痴漢とか？

一同 痴漢？

彩香 圭ちゃんが？

田村 埼京線って、痴漢多いつて言うじゃん。

美紀 だけど、ゲイだから痴漢なんてしないんじゃないの？

彩香 ゲイでなくなつてしませんよ、圭ちゃん、痴漢なんて。

田村 相手、男なんじゃね？

美紀 ああ……。

田村 ほら、昨日埼京線乗つたらさあ、男子高生がウヨウヨいたじゃん。

美紀 ああーいたいた。

彩香 まあ、帝京高校だと思います。十条駅にあるんです。帝京。

田村 よく聞くよね、帝京高校って。

マネージャー まあ、野球強いからなあ。

田村 ああー。

マネージャー サッカーもな。

田村 へえー。

マネージャー あと、とんねるずの出身校だしな。

田村 ああ！ とんねるずさんの！

マネージャー うん。ほら、「一気」ってあるだろ。曲。

田村 ああーはいはいはい……ありました、ありました。

マネージャー あれの頭のセリフ、「押忍！ 帝京高校出身」って、それで始まるから。

田村 あつ、そう言えば……ああーあの帝京高校か……。

マネージャー うん。それはいいんだよ。要は、小島はその帝京の男子校生に痴漢をして捕まったと……。

……。

田村 まあ、痴漢で捕まったらの話ですよ。

彩香 そんなことするわけじゃないです！ 痴漢なんて。

シヨウタ まあ、痴漢はないでしょうけど、あり得るとしたら、それこそ高校生とヤツちやったとか。

田村 高校生とヤツた？

シヨウタ こないだもそれでうちの知り合いが一人捕まりましたからねえ。

美紀 そうなの？

シヨウタ その子二十歳の子なんですけどね、十四歳の中学生とやっちゃって。

一同 十四歳！？

シヨウタ その捕まった子も、結構なイケメンで。○○○○(知名度の低い微妙なアイドル)みたいな。

一同 ん(誰それ)？

シヨウタ まっ、十四の子にしたって、歳六つしか離れてないし、カッコイイお兄さんって感じで、全然

アリだと思うんですけど、でもそれが親にバレちゃって、警察に訴えられて。

田村 えっ？ それって全部男同士の話なんだよね。

シヨウタ そうですよ。

マナージャー まったくついていけないね。

田村 ええー……じゃあ圭も十四の子と？

シヨウタ まあ、さすがに十四の子は、ケンちゃん別にシヨウタじゃないし、本人も無理って前に言っちゃったから、それはないと思いますけど、でも、高校生くらいだったらあってもおかしくはないかなあって。

彩香 ええー……。

シヨウタ 十八未満とだったらホント犯罪ですけどね。

田 村 だけど、そんな十代の子が圭みたいなアラフォーのおっさんとさあ、ヤレるか？ しかも男だよ。

美 紀 うん。それにどこでそんな高校生なんかと出会うのよねえ。

シヨウタ まあ、ツイッターとか、あとはアプリとか。

一 同 アプリ？

シヨウタ あるんですよ、そういう出会いのアプリが。

美紀・田村 へえー……。

シヨウタ あつ、見ます？ 自分もやってるんで。あつ、ケンちゃんのページも見ます？

美紀・田村 えっ？

シヨウタ ケンちゃんのねえ、写真がねえ、スゴい詐欺画でウケますよ。

彩 香 やめて！ そんなの見たくないし、そんな話聞きたくない！ だいたい、圭ちゃんが本当に

悪いことしたかどうかなんて、分かんないじゃないですか！

美 紀 まあ、確かに……憶測で言ってもしょうがないし……なんか不毛よね。

田 村 何だろうなあ……圭はなんで捕まっちゃったんだよなあ！

マネージャー (急に立ちあがり) ああーもうーダメだな！

一 同 人？

マネージャー 埒あかん！ もう決めた！

一 同 決めた？

マネージャー もうこうなったら、小島抜きでオーグランプリに出る方法を考えよう。

田村・美紀 ええっ！

彩 香 そんな！ それヒドくないですか？ 圭ちゃんいなかったらTKFじゃない！

マネージャー だって、しょうがないでしょ！ いないんだもん。逮捕されちゃったんだもん。理由は

どうであれ。しょうがないですよ、TKFじゃなくて、これからはTFですよ、TF！ TF  
レボリューションですよ。

彩 香 はあ？

田 村 TFレボリューションっていうのはさておいても、こうなった以上、圭抜きでもやれるなら、

背に腹は変えられないなあと正直思いましたが……。

美 紀 それはさすがに……台本は圭が書いてるわけだし、なんやかんや、圭あつてのTKFだと思

うし。

彩香 そうですよ！

美紀 それに、人数減るのはマズイんじゃないですかね。一応、TKFの三人組ってことでエントリーしてたわけだし。それ変えたら失格じゃないですか。(田村に) ねえ。

田村 ああ、うん。やつぱり、圭抜きでやるなんて、ちよつと……ねえ……自分には考えられないっすね。

美紀 うん、それはちよつと……。

田村 それだとTKFじゃなくなっちゃいますしね。

マネージャー なんなんだよ、お前ら。せつかく俺がさあ、せめて、せめて二人だけでもさあ、捕まった小島はさておいても、田村と藤原、TとFだけはさあ、この厳しい芸能界で生きていけるようにさあ、いろいろアイデア出してやってんのにさあ、何なんだよ。この厳しい芸能界で生きていく気あるのかよ！ やる気あるのかよ！ 俺だってさあ、暇じゃないんだよ。お前らより売れてさあ、いっぱい稼いでる、それこそ時給ウン十万円のさあ、売れっ子を抱えているのに、それ差しおいて来てやってんのにさあ、そんな人の気も知らないでさあ……○×△□☆……ウエーン！！(号泣する)

美紀 えっ、ちよつと……。泣かないで下さいよ。

マネージャー ○×△□☆……ウエーン！！

美 紀 ええー……ちよつと……困ったなあ。

田 村 ……なんか、すみませんでした。確かに、十数年、圭とずっとやってきて、圭があつてのTK Fなんだろうけど、だけど、やっぱさあ、それじゃダメなんだと思う！ いつまでも圭にオンブに抱っこじゃさあ、一人一人がさあ、自立しなきゃさあ、ダメなんだと思う。

美 紀 ええ？

田 村 ドリカムだつてさあ、最初は三人だつたんだよ。だけど、二人になつてもさあ、今でもバリバリ現役じゃん！ そういう決断しなきゃさあ、ダメなんだと思う！ 俺はさあ、お笑いで食つていきたい！ 売りたい！ この厳しい芸能界で生きていきたい！ マネージャー、分かりました！ 圭抜きでやれる方法考えましょう。自分、どんな手を使つてもO Iグランプリに出たいつす！ 優勝したいつす！

マネージャー そうだな、そうだな、分かつてくれたか。分かつてくれたか。

美 紀 なんなんだ、この三文芝居は！ と思いなながらも、私だつてこの厳しい芸能界で生きていきたいっていう気持ちはありました。だけど、問題は二人でどうやってTKFとしてO Iグランプリに出るかです。

マネージャー あっ！

一同 ？

マネージャー 閃いた！

一同 閃いた？

美紀 マネージャーが妙案を思いついたようでした。

マネージャー、他の皆に耳打ちする。

一同 ええー……。

暗転

明かりが入ると、圭と瓜二つの男（大島）と、その傍らに男が二人（新島と三宅島）がいる。

田村・美紀・彩香 ええっ！？

田村 えっ……ちよつと……。

美紀 どういうこと？

マネージャー どうだ！ 小島と瓜二つだろ？

美紀 えっ？ 親戚とか？

大島 いや……そんな……滅相ありません。

マネージャー ほら、お前ら、自己紹介、自己紹介。

大島・新島・三宅島 あっ、はい。

大島 おはようございます！ 第二十八期研修生、大島新島三宅島の大島と申します。二十歳です。

新島 おはようございます！ 同じく大島新島三宅島の新島と申します。十六歳です。

三宅島 おはようございます！ 同じく大島新島三宅島の三宅島と申します。三十六歳です。

大島 三人合わせて……。

大島・新島・三宅島 大島新島三宅島！（決めポーズ）

マネージャー どう？ この豊富なツッコミどころ。

田村 えっ……大丈夫なんすか？

美紀 もしかして、彼（大島）を圭の代わりに？

マネージャー そういうことだよ。

一同 ええっ！？

シヨウタ ホント、ケンちゃんにくりそつ（そっくり）！

彩香 でも、本物の圭ちゃんじゃない！

大島 ……すみません。

マネージャー そうですよ、だつて替え玉ですから。

大島・新島・三宅島 替え玉？

マネージャー いやいや……もとい、代役だよ、代役！ だがしかし、小島が病気だということが明らかになつてしまうと、今後にいろいろと差し障りがあるのでね。代役というのは絶対に秘密！  
いいか？

大島・新島・三宅島 はい！

マネージャー 君はこれから小島圭だ！

大島 あつ、はい……。

マネージャー 新人ではあるけど、大島は元々高校で演劇をやつてたから、演技力はある。そうだろ。

大島 ああ、いやまあ……（照れる）。

田村 待て待て！と思ひました。いくら似てるとは言え、こんな若い新人に圭の代わりが務まるわけがありません。

美紀 私も同じこと考えました。いくら顔が同じだからって、アラフォー芸人舐めんなコラ！つてここまで出掛かりました。

大島 正直困惑してました。そりゃ、ゴールデンのしかも生放送に出られるのはスゴイことだと思

いますけど、自分はOidじゃねえぞって思っていました。

新島・三宅島 僕らも困りました。大島新島三宅島はどうなってしまうんだろ

うと不安でいっぱいでした。

マネージャー 何を……十年早いよ！ 有難く思え！ 有難く！ 先輩が急病で出られなくなってしま

った。その代役として白羽の矢が立ったんだぞ、お前に！ こんなチャンス滅多にないんだぞ。

大島・新島・三宅島 はあ……。

マネージャー とにかくなあ、今やれることはなんでもやってみようじゃないか。なあ？ ダメ元でも

何でも！

一同 はあ……。

マネージャー とりあえず、やってみよう。コント、やってみよう。なっ！ ほら、台本台本。

田村 あっ、そう言えば、圭が持ってくるつつつて、そのまま……。

マネージャー えっ？ ないのか？ 台本。

美紀 ああー、台本かあ……。

マネージャー パソコンとかにないのか。ヤツのパソコン。

彩香 あっ！

一同 ん？

彩香 パソコンがない！ 圭ちゃんのパソコンがない！

一同 ええっ？

美紀 ここで初めて、圭のパソコンや、引き出しの中身、書類、ファイル、そういったものがなくな

っていることに彩香さんが気づきました。えっ？ 今さら……。

田村 家宅捜索で一切合切持つてかれたつてことはあとになって分かったことです。

新島 空き巣ですかね。

三宅島 警察呼びましょうか？

マネージャー いやいやいや……いい、いい……それはいい。

大島・新島・三宅島 はあ……。

美紀 台本がなくて、さてどうしたものかと途方にくれていると、玄関の

チャイムが鳴りました。

SE「チャイム」  
中年の男（浅川）が現れる。

美紀 現れたのは、中年の男性でした。

浅川 ゴメン下さい。

彩香 はい。

浅川 あのー、小島さんのお宅でよろしいですかね。

彩香 あっ、はい。

浅川 あの、ケンさんはいらつしやいますかね？

彩香 ケン？

浅川 はい。

彩香 ケンですか？

田村 あっ、もしかして、そっち系の？

浅川 そっち系？

田村 あれ？ 違いました？

浅川 はい？

彩香 あの、失礼ですが……。

浅川 あつ、申し遅れました。(名刺を出して) 私、こういうものです。

彩香 (名刺を見て) 新聞社……。

浅川 浅川と申します。

マネージャー (名刺を覗き見て) えっ？ 記者の方ですか？

浅川 はい。

マネージャー えっ？ もしかして、小島の件ですか？

浅川 あつ、はい。

マネージャー (大島らに) ちよつと、ちよつと、お前ら

大島・新島・三宅島 あつ、はい。

マネージャー ちよつと駅前のマックにでも行つてろ。待機待機。

大島・新島・三宅島 あつ、はい。

大島・新島・三宅島、挨拶をして出て行く。

浅川 随分とたくさんお集まりなんですね。

マネージャー いや、あの、仕事の打ち合わせで……ね？

彩香 ああ、そうですそうです。

浅川 あつ、仕事関係の方ですか。

マネージャー ええ、まあ、そんなところですかね。

浅川 小島さんは今どのようなお仕事されてらっしゃるんですか？

一同 えっ？

マネージャー あれ？……小島の件で来られたんですよね？

浅川 はい。

マネージャー えーつと……あのー、小島とはどのような関係なんでしょうかねえ。

浅川 ああ、あの、私が今扱っている記事の件で、小島さんと何度かメールでやりとりさせてもらってまして、それでお話をうかがいたいと思ひまして。

一同 ???

浅川 小島さん、今日は……。

彩香 あの……実は……。

マネージャー ああー、あの、今小島は海外に行っちゃってまして。

浅川 海外？

マネージャー はい。あのー仕事で。

浅川 あっ、そうなんですか？

マネージャー はい。

浅川 いつ戻られます？

マネージャー いや、そうですねえ……。

田村 ……(美紀と同時に)一週間くらい……。

美紀 ……(田村と同時に)二週間くらい……。

マネージャー ……十日くらいですかねえ。

浅川 そうですか……。

田村 ちなみに、その、記事っていうのは、どんな内容の……。

浅川 あー……それはちょっと……ご本人いらっしやらないなら、また改めます。あっ、もし差し支えなければ、今連絡がとれるアドレスか何か教えていただくわけにはいきませんかね。

一同 えっ？

彩香 ああー……。

マネージャー ちょっとそれはですねえ、本人に確認しないとですねえ。

浅川　　そうですね。そしたら結構です。私が連絡とりたがってるっていうことだけ、お伝えいた

だいてもよろしいですかね？　もしお手間でなければ。

彩　香　　ああー……はい。

浅　川　　じゃあ、今日のところは……失礼します。

彩　香　　どうも……。

浅川、去る。

美　紀　　何なんだろう。

彩　香　　ケンって言ってましたよ。

シヨウタ　　でもあの人ノンケですよ、きつと。

彩　香　　でもケンって言った。

田　村　　圭が芸人だっていうのも知らないみたいだったしなあ。

マネージャー　　つか、記事って何だよ、記事って。ダメだろ、そんな勝手に取材なんて受けて、メールのやりとりまでして。

田村・美紀　　すみません。

マネージャー　　事務所通せよ、事務所。闇営業すんな！

田村・美紀 言っておきます。

シヨウタ だけど、記事とかメールとか言ってたけど、どうい内容かしらねえ。

一同 ええ……？

転換。

7 取調室（2）銀行口座

警視庁の取調室。  
ベテラン刑事と新米刑事と圭。

ベテラン そろそろ思い出してくれたかねえ？

新米 くれたかねえ。

圭 ホント、心あたりないんですけど。

ベテラン ホントに覚えはないのか？

圭 はい。

新米 なんかあるだろう！

圭 なんかって……あつ……。

ベテラン 何か思い出したか。

圭 もしかして、口座のことですか？

ベテラン・新米 口座？

圭 銀行口座……。

ベテラン・新米 銀行口座？

圭 えっ、違いました。

ベテラン その銀行口座がどうしたんだ？

圭 えっ……。

新米 どうしたんだ！

圭 口座を……。

ベテラン 口座を？

圭 売りました。

ベテラン・新米 売った？

圭 ……はい。

ベテラン 誰に？

圭 誰ってというか、ネットで「小遣い稼ぎをしませんか」って、そういうのがあって、そしたら、銀行口座が売れるって話で……。

ベテラン ほほう、それで口座を売ったと。

圭 その時、すごいお金に困ってて、借金の返済とか、そういうのもあって、スゴイヤバくて……。

ベテラン なるほどねえ。だけど、そのお前が売った口座、もしかすると、犯罪に使われたかもしれない

ねえ。

圭 犯罪ですか？

ベテラン 振り込め詐欺とか、犯罪の資金とかなあ。

圭 だけど、僕は売っただけで、それが何に使われるとか、そういうのは全然知らなかったし…

…。

ベテラン 残念ながら、口座を売ること、それ自体が法律違反なんだよ。

新米 違反だ、違反！

圭 えっ？ そうなんですか？

ベテラン なんて法律だったっけ？

新米 なんて法律だったっけ？

ベテラン (新米に) お前に聞いてんだよ。

新米 えっ？

ベテラン その、口座の売買を禁止した法律、なんて法律だったっけ？

新米 えーつと…。

ベテラン なんだ、言えないのか。

新米 いや、あのー……。

ベテラン 金融機関等による。

新米 あっ……えーっ、金融機関等による……えっ……。

ベテラン 顧客等の。

新米 あっ……えーっ、金融機関等によるお客等の……。

ベテラン 顧客。お客じゃなくて顧客。

新米 あっ、はい。えーっ、金融機関等による顧客等の……えー……本人確認等及び……えーつと……。

圭 えっ……何て法律なんですか。

新米 貴様！（圭の胸ぐらを掴む）

ベテラン ヤメヤメヤメ……何やってんだよ。八つ当たりするんじゃないよ。

新米 （離れて）すみません！

ベテラン 悪かったなあ、うちの若いモンが。

新米 悪かったなあ！

ベテラン つまりだな。（カンペを出して）金融機関等による顧客等の本人確認等及び預金口座等の不正な利用の防止に関する法律。それに違反すると、こういうわけだねえ。

圭 すみません。

ベテラン まあ、それはそれとして、別件で扱うとして。

圭 はっ？

ベテラン 他にあるだろう、他に。思いあたることか。

圭 ええー……。

轉換。

8 圭の妹と弟

圭のアパート。

田村　それから一時間ほど経ちましたが、特に変わった動きはありませんでした。マネージャーの携帯には、番組のプロデューサーから探りの電話が入っていました。

マネージャー　いえいえ、そんなそんな……ちよつとですねえ、パソコンの調子が悪いみたいで、ええ、もう何も問題はありません！ ノープロブレムです。はい……はい……よろしくお願ひいたします！ はい……はい……失礼いたします！（電話が切れて）はあ……ヤバイ、向こうが何か異変を察知してるっぽいぞ。

美紀　ええー……。

田村　マジすか。

マネージャー　あと二十時間かあ……。

浅川がやってくる。

浅川　度々すみません。

彩香 あっ、はい。

浅川 小島さんなんですけど、入院されてるって本当ですか？

一同 えっ？

彩香 それはどちらで……。

浅川 いや、今マックで、さっきの三人組に聞きましたけど。

マネージャー あっ！ あいつら……。

浅川 海外だなんて……。

マネージャー いろいろ込み入った事情がありました。

浅川 込み入った事情？

マネージャー いやーあのーちよつと仕事上のトラブルで、ちよつといろいろと……。

浅川 仕事って、小島さん、今どんなお仕事されてるんですか？

マネージャー いやー……。

彩香 芸人です。

浅川 芸人？

彩香 お笑いの。

浅川 えっ？ そうなんですか？

彩香 はい。

田村 まあ、そのあたりをざっくり説明しました。あつ、逮捕されたってことはまだですけど。

浅川 ああー、皆さん、そういう方々だったんですね。

ええ。

浅川 しかし、自衛隊出身のお笑い芸人っていうのもなかなか面白いですね。

一 同 はあ……えっ？

浅川 はい？

美紀 自衛隊ですか？

浅川 はい。

一 同 えっ？

浅川 あれ？ 小島さんって、元自衛官ですよ。

一 同 ええっ！？

田村 自衛官？

浅川 あれ？ 違うんですか？

彩香 えっ？ それ誰から聞いたんですか？

浅川 いや、ご本人がメールで。

彩香 本人が？

浅川 はい。

彩香 ええ？ 圭ちゃんって、自衛官だったんですか？

田村 聞いたことないよ。

美紀 あたしもないわよ。

浅川 あれ？ 一昨年まで自衛官やられてたんじゃないですか？

一同 一昨年？

田村 いやいやいや……。

美紀 ここ二十年近く、圭はずっとお笑い芸人ですよ。売れないけど。

彩香 そうですよねえ。圭ちゃんが自衛官だなんて……。

浅川 圭？

美紀 うん、あんな身体でねえ……圭に自衛官は務まんないんじゃない。

田村 俺の方がさあ、圭よりそれっぽいよね。

一同 あーあーあーあー。

浅川 あの一……圭？

彩香 はい。

浅川 あれ？ ケンさんですよ？ お名前。

彩香 いえいえ、圭です。

浅川 あれ？ 小島「ケン」さんじゃないんですか？ 健康の「健」の字の。

彩香 はあ？ 「健」じゃなくて「圭」ですよ。「土」を二つ重ねて書く、圭です、圭。

浅川 圭……。あれ？ おかしいなあ……。(カバンの中を探したりして)あれ？

マネージャー 自衛官の小島健つて……。なんか、人違いじゃないんですか？

浅川 ええ……。。

マネージャー すみませんが、ちょっと今とりこんでるもので……

浅川 ああーじゃあ、ちよつと……。また出直して来ます。すみません。

浅川、去る。

マネージャー なんだ？

美紀 自衛官の小島「健」つて……。

シヨウタ それ、ケンちゃんのことでしょ。

彩香 だけど、圭ちゃん、自衛官じゃないですよ。

田村 あっ、そうだよ、そうだよ。

マネージャー うんうんうん確かにそうだな。

美紀 でもさあ、圭がさあ、ケンちゃんの名前で、あの新聞記者にメール送ったってことはないかしらね。

一同 えっ？

美紀 でね、そのケンちゃんっていうのはさあ、自衛官っていう設定なのよ。

一同 設定……ああ……。

美紀 つまり、小島圭が、元自衛官の小島健としてメールを送ったと……。

田村 ああーそういうこと？

シヨウタ どんなメール送ったんですかねえ。

美紀 なんかさあ、そこにさあ、圭が逮捕された秘密が隠されてるんじゃないの？

田村・マネージャー ああー……。

シヨウタ じゃあ、僕やつぱ呼んできますね。あの人。

田村・美紀・マネージャー えっ？ いいの？

シヨウタ はい。

マネージャー ああ、じゃあ、頼んだ！

シヨウタ、靴も履かずに去る。

マネージャー っていうか靴くらい履いてけよー。まいつか……。ヨッシャー！ これで何か手がかり

が掴めるかしれないぞ。

田村 うまくいけばいいですけどね。

彩香 小島健……。

美紀 どうしたの？

彩香 どつかで聞いたことあるんですよね。

一同 えっ？

彩香 小島健……。

田村 だから、ケンちゃんでしょ、ケンちゃん、あつちの世界の。

彩香 いや、そうじゃなくて……。小島健……。

一同 小島健？

大島新島三宅島が戻ってくる。

大 島 失礼します！

マネージャー あっ！ お前ら、なんで言っちゃったんだよ、小島が入院してるってこと。

大島・新島・三宅島 ……。

新 島 すみません！ 自分がいけないんです。自分がよく分かってなくて……。

三宅島 いや、新島、お前だけが悪いわけじゃないよ。俺も実はよく分かってなかったから、俺が聞か

れてたら、同じように入院してるって答えちゃってたと思うよ。

新 島 ホントか？

三宅島 うん、ホントさ。

新 島 そっか、なら安心だ。

三宅島 うん！

大 島 そんなことよりマネージャー、大事なお話があります。

マネージャー 何なんだよ。今の、そのかばい合いは何なんだよ。

大 島 自分たちは、やっぱり大島新島三宅島です。

マネージャー うん、そうだ、お前らは大島新島三宅島だ。それがどうした？

大 島 はい、それですな。

マネージャー うん。

大島 ……。

マネージャー どうした。

新島・三宅島 (大島を背後から突いて促す)

マネージャー なんなんだよ、お前ら。

美紀 彼らはおそらく、替え玉はやりたくない、ということをお伝えしたかったんだと思うんですけど、

ウダウダしている間に次の訪問者がやってきました。

若い女がやってくる。

若い女 (大島を見て) あっ、お兄ちゃん!!

一同 お兄ちゃん?

田村 圭の妹の小島敦子さんでした。

敦子 えっ、ちよつと、もう何やってんのよ! 心配したのよ! えっちよつと、もう大丈夫なの?

何やらかしたのよ! ホント心配してたんだからね! バカバカバカ!

大島 違います違います！

田村 紛らわしいのと、圭の逮捕のことを大島新島三宅島に知られるのはやはりマズイので、彼らは再びマック送りとなりました。

大島新島三宅島、去る。

敦子 今朝、弁護士さんから連絡がありまして、とりあえず、とるものもとらずに新幹線に飛び乗って……ホント、兄がご迷惑をおかけして本当に申し訳ありません。

一同 いえいえいえ。

彩香 長野でしたよね？

敦子 はい。佐久穂町っていうところなんですけど……。

彩香 ご実家、大丈夫なんですか？ お父さん。

敦子 ああ、はい。とりあえず、今日のところは近所に住む叔母がついてくれることになったので。

彩香 ああー。

田村 あれ？ ご家族って……。

敦子 実家にいるのは私と父二人だけです。母は私らが子どもの時に亡くなりまして、もう一人兄

もいたんですけど……。

美紀 えっ？ 圭のお兄さんですか？

敦子 いえ。その下の次男です。

一同 ああー。

田村 弟いたんだね、圭に。

敦子 それが一昨年亡くなりまして。

一同 えっ？

美紀 そうなんですか？ 知らなかった……。

田村 俺も初耳。

マネージャー なんだよお前ら、同じグループなのに、そんなことも知らないのかよ。

美紀 あんまプライベートとか話さないんで。

マネージャー そうなの？

田村 病気か何かですか？

敦子 自衛官だったんです。

一同 自衛官……。

敦子 海外に派遣されてまして。平和維持活動で。

一同 へえー……。

敦子 自殺したんです。

一同 えっ……。

敦子 任務を終えて、帰ってきてから、自宅で。

田村 そうでしたか……。

敦子 そのショックからか、父も身体を壊してしまっ……。

一同 ああー……。

敦子 一昨年の、ちょうど、今ぐらいの時期でした。

美紀 ああーちょうど単独ライブの直前でバタバタしてた時じゃない。

田村 ああ、そうだそうだ。えっ、でも圭、そんなこと一言も言わなかったよなあ。

美紀 うん。

田村 水くせえなあ。

敦子 葬儀にも顔出ませんでしたから。

田村 えっ？ そうなんですか？

敦子 数日遅れで帰っては来たんですけど、父がものすごい激怒して、勘当だ！みたいになっ

まって、それ以来、実家には一度も……。

……なんか、どうも、すみませんでした。

言ってくれりゃあ、葬儀くらい行かしてやったのにな。

確かに……。

それで帰省したのか……。

ちようど明日が命日なんです。

えっ……。

田村 マジかよって思いました。明日八月十五日はオー克蘭プリの本番、よくよく考えたら終戦

記念日だし……。

敦子 私、来年結婚する予定なんです。

美紀 あっ、そうなんですか？

敦子 それで九州に移ることになってまして……。

一同 ああー……。

敦子

ですから、ホントいうと、兄もうじき四十になるわけですし……いつまでも夢ばっか見ないで、いい加減落ち着いて、こっちで父の面倒みてもらえたらなって……。

一

はあ……。

敦子

あつ、なんか、すみません。勝手なことばっか言っちゃってしまつて。

一同

いえいえいえ……。

敦子

なので……彩香さん！

彩香

はい。

敦子

あの、こんな時に言うのも難ですが、どうか、どうか兄を……兄を見捨てないでやって下さい！ この通り、お願いします！

彩香

妹さんの気持ちは嬉しかったんですけど、それはこっちのセリフです。見捨てられてるのはあたしだよ、見捨てないでもらいたいののはこっちだよって思いました。

美紀

敦子さんの話は尽きませんでした。まあ、圭の家族の話が聞けたのは良かったのかもしれないませんが、父と娘二人の田舎暮らしで、父親の介護や放蕩息子の問題、叔母との見えない確執、隣人との騒音を巡るトラブル、それから愛犬チローの失踪など、周りに相談できる相手もな

く、そのあたりのストレスを一人で抱え込んで、それがこの東京の下町で一気に噴き出したようなそんな感じでした。

田村 そうこうしている内に、なんだかとっても哀れな敦子さんを励まそうみたいな、そんな空気が出来上がり、せっかくだから、ピザ頼もう、寿司頼もう、お酒だお酒だという具合に、ちよつとした宴会みたいになってしまいました。

食べ物や飲み物が持ち込まれ、宴会となる。

美紀 ハッキリ言って現実逃避でした。今すべきことは、圭の罪を晴らして、O1グランプリ本番に向けて死にも狂いで練習することだろうに、一体全体何してんだ、あたしら。

田村 思えば、これまでの芸人生活、こんなことの繰り返しでした。肝心な時に、脇道に逸れてしまふ。寄り道をしてしまふ。これからの人生、もうちよつと自分に厳しくなりたいです。

彩香 そこへ、夕べ、ほんの一瞬だけ現れた二人の女性が再びやってきました。

二人の女性（野々村と住田）がやってくる。

野々村 すみません。

彩香 あつ、夕べの……。

野々村 小島さん、お帰りですかね？

彩香 あっ、いや、それが……。

住田 (敦子に気づいて) あれ？ 小島さん？

敦子 !

野々村 ん？

住田 小島さんですよ？

野々村 小島さん？

敦子 どうも……。

住田 やっぱり……。

野々村 小島さんじゃないですか！

敦子 ご無沙汰してます。

野々村 ちょっと、どうしてたんですか？

住田 何度も連絡したんですよ！

野々村 全然音沙汰ないから……。

住田 心配してましたよ。

敦子 すみません。

彩 香 あの一……。

野々村 あつ、すみません。私、野々村と申します。

住 田 住田と申します。

野々村 急にバタバタと……申し訳ありません。

一 同 どうも。

敦 子 どうされたんですか？ こんな……東京まで来られて。

野々村 あなたと連絡とれないからよ。お兄さんがこつちいるっていうから、色々調べて。

住 田 タベ東京に着いたんです。

野々村 あなたいつ来たの？ こつち。

敦 子 私は今朝。

野々村 そうなの？

住 田 偶然ですね。

野々村 いつまでいるの？

敦 子 明日の午前中には……。

野々村 随分と慌ただしいのね。

敦 子 命日なんです。明日。

野々村 ……あー……。

住 田 あんまり時間ないですね。

野々村 まあ、あなたにも聞きたいことはまだ山のようにあるから、それはそれであとでじっくり時間とるとして、ひとまず、お兄さん、圭さんはどこにいるの？

美 紀 そのあたりについて、じっくり、ざっくり説明しました。

野々村・住田 逮捕！？

一 同 はあ。

野々村 まずいことになったわねえ。

住 田 どうしましょう。

マネージャー あのー、小島がなんで逮捕されたか、お心当たりないですかね？

浅川がやってくる。

浅 川 度々すみません。やっぱり小島「健」さんです。

敦子・野々村・住田 ！

浅川 私とメールのやりとりをしていたの小島「健」さんです。

野々村・住田 小島健？

野々村 小島健って……。

田村 あっ、それね、圭の別名です、別名。

野々村・住田 別名？

美紀 小島健って小島圭のことですから。自衛官っていうのは、設定なんです。設定。

田村・マネージャー そうそう、設定、設定。

野々村 はあ？ あなた方、何言ってるんですか？

田村・美紀・マネージャー えっ？

野々村 小島健さんっていうのは、小島圭さんの弟さんですよ。

一同 えっ？

野々村 そうですね？ 小島さん。

敦子 ……はい。小島健は、私のもう一人の兄です。

一同 ええっ！？

転換。

9 取調室（3）小島健

警視庁の取調室。

ベテラン刑事と新米刑事と、そして圭ではなく小島健がいる。

ベテラン

被疑者・小島圭、昭和五十九年五月二十一日生まれ。本籍は長野県。公務員の父・小島明と専業主婦の母・智子との間に、小島家の長男として生まれる。二つ年下の次男・健、五つ年下の長女・敦子と、二人の兄弟にも恵まれ、比較的安定した幼少期を出生地である長野県南佐久郡佐久穂町で送る。しかし、圭七つの時に、母・智子が持病の心臓発作により他界。その後は父・明が男手一つで三人の兄弟を育て上げる。圭は高校卒業後、上京。大手芸能プロダクションのお笑い養成所に入所し、そこで芸人の卵として活動を始める。昼は養成所のレッスン、それが終わり深夜には牛丼チェーン店でアルバイトとして勤務。ここままで間違いはないよなあ。

健

いいえ。

ベテラン・新米 ん？

健 私は小島圭ではありません。圭の弟の小島健です。

ベテラン・新米 ハッ？

健 自衛官をやっています。いえ、やっていました。陸上自衛隊中部方面隊第十師団に属して、中

東紛争の平和維持活動に派遣されていきました。主な任務は米軍兵士の輸送や武器や弾薬の補給など米軍の後方支援です。

ベテラン 何を言ってるんだ！ お前は小島圭だろ！

健 小島健です。健康の健の字と書いて健、小島健です。

新米 ふざけるのもいい加減にしろ！ お前は小島圭だろ！

健 小島健です。私は小島健です。私の名前は健、小島健。

新米 貴様！

ベテラン まあ、よかろう。

新米 えっ？ デカ長！ いいんすか？

ベテラン なるほど……小島圭が、小島ゲイになり、そしてそれが、たった今、小島健になったって、そういうことだろう！

新米 えっ？ どういうことですか！？ デカ長、どういうことですか？

ベテラン ならば尋ねよう。被疑者・小島健！ お前は一体何をした！ お前の犯した罪を洗いざらい話してもらおうじゃないか！

新米 もらおうじゃないか！

それは秘密です。(作／檜原 拓)

転換。

10 健の秘密

圭のアパートに戻る。

マネージャー つまり、小島の弟が小島健さんであると……こういうことなんですね？

敦子 ええ。

田村 なんだ、別人だったのかよ。

美紀 つていうか、圭の弟つて……。

田村 自衛官……(クビに手をかける仕草)。

美紀・田村・彩香・マネージャー ええ……。

浅川 (敦子に) あのー、あなた、妹さんなんですか？ 小島さんの。

敦子 はい。

浅川 私、こういうものですが……。 (名刺を渡す)

敦子 (名刺を見て) ……記者の方なんですわ……。

浅川 実は、小島健さんからメールをいただいてまして。

敦子 はい？

浅川 ちよつとその件でうかがいたいことがあります……。

野々村 あの一……

浅川 はい？

野々村 横から失礼しますけど、小島健さんからメールですか？

浅川 ああ、はい。

野々村 それ本当に健さんからのメールなんですか？

浅川 えっ？ どういう意味ですか？

野々村 だって……小島健さんはすでに亡くなってるんですよ。

浅川 えっ？ そうなんですか？

野々村 ねえ。

敦子 ええ、一昨年に……。

浅川 えっ？ じゃあ……この私にメールを送ってきた小島健っていうのは……。

田村 まさか……。

一同 ん？

田村 あっ……いや、やっぱ何でもないです。

マネージャー 何だよ！ 気になるだろ、言えよ。

田村 いや、あの、それ、あの世の小島健さんから届いた死者からのメールじゃないかなって……。

一同 はあ？

マナージャー 何なんだよ、それは……。

田村 だって、明日命日ですよ。しかも終戦記念日だし。

美紀 確かに……この世に未練を残した兵隊さんが成仏できぬまま、現世での恨み辛みをカチャカ

チャカチャカチャ、夜な夜なカチャカチャカチャカ……。

彩香 ええー……ちよつとコワイ……。

マナージャー 何をふざけたこと言ってるだよ。コワイだろう！

住田 それ、なりすましじゃないですかね。

一同 なりすまし？

住田 はい。別の誰かが健さんの名前でメールを送ったって、そういうことじゃないですかね？

一同 ……あー……。

浅川 別の誰か……。

住田 亡くなった人になりすますなんて、なんか、悪趣味ですね。

野々村 ちなみに、どんな内容のメールだったんですか？

浅川 いや、それは……。

野々村 もしかして、自衛隊の中東派遣に関することではないんですか？

住 田 えっ？ そうなんですか？

浅 川 あの、失礼ですが、おたくさんは……。

野々村 野々村と申します。息子が自衛官で、中東に派遣されました。

住 田 私は夫が。あつ、住田と申します。

浅 川 浅川と申します。

野々村 浅川さん、どんな内容のメールだったんですか？

浅 川 まあ、おっしゃるのように、自衛隊の中東派遣に関する情報です。それについてうかがおうと思っていたんですが、ご本人と連絡がとれなくなりました、それでメールに書かれてあったこの住所を尋ねたというわけです。

彩 香 えっ？ この住所が書かれてあつたんですか？

浅 川 はい。

野々村 だけど、送信者の名前は小島健さんなんですよね。

浅 川 はい。

彩 香 あの、どういうアドレスですか？

浅 川 はあ……まあ……フリーメールなんですけど……。

田村 アカウントは、keino\_pc、普通に読むと、ケイノピーシーでした。

一同 ケイノピーシー？

田村 それ圭のアドレスじゃん。

一同 ええ？

彩香 つてことは、圭ちゃんが健さんになりすましてメールしてたつてこと？

美紀 やっぱりあたしの睨んだ通りだ。

野々村 もしそれが事実なら、それで逮捕されたつてことかと……。

一同 えっ？

浅川 逮捕？

野々村 小島圭さん、逮捕されたらしいんです。

浅川 ええっ……。

田村 えっ？ なりすましてメールして、そんなんで逮捕されちゃうんですか？

野々村 そうではなくて、そのメールの中身が問題なんだと思います。

田村 中身？

浅川 おそらく、そのメールには何か重大な秘密情報が含まれているのではないかと……。

一同 秘密情報？

田村 だからつつつて、そんな、メール送っただけで捕まるんですか？

浅川 まあ、秘密情報ですから、故意であれ、過失であれ……それ漏らしたら、どっちにしたって罪に問われるでしょうね。

美紀 なんで圭がそんな情報持つてるんですか？

彩香 つていうか、ホントにそれ圭ちゃんなんですか？

田村 そうだよなあ、圭がそんな秘密情報なんてさあ……スパイじゃあるまいし……。

美紀 うん、何かの間違いじゃないんですか？

マネージャー ああーあれほら、遠隔操作とか。

田村 ああーそうだそうだ！

マネージャー ウィルスとか。

田村・美紀 ああーあるあるある！

住田 あのー念のため、IP調べたらどうですかね。

一同 IP？

住田 IPアドレスです。それ調べれば、だいたいどこからメール送ったか分かるはずですよ。

美紀 どうやら、この住田さんっていう人はインターネットのサポートセンターで働いているらしく、見かけによらず、わりとそういうのに詳しいみたいでした。

住田 これ、長野からですね。

一同 長野？

住田 はい。長野CATVって、長野のケーブルネットサービスみたいです。

田村 つてことは、長野から送信されたつてことですか？

住田 まあ、そういうことですね。

田村・美紀・彩香・マネージャー 長野……長野……長野……長野……長野……長野……長野……長野……長野……長野……（敦子に視線を向ける）

敦子 ゴメンなさい！ あたしが……あたしが送りました！

一同 ええー……。

野々村 なんて、そんな手の込んだこと……。圭さんのアドレスから、健さんの名前を使って……。

住田 これは見る人が見れば長野から送られたつて、一発で分かかりますよ。

田村 どうやってログインしたんですか？

美紀 あっ、そうそう、パスワードとか。

敦子 圭兄さんの使ってるパスワードはだいたいいつも同じなんで、試しに入力してみたら、ログ

インできてしまつて……。

住田 ああー、一番いけないパターンですね。

野々村 素直にあなたから直接メールすれば良かったじゃない。それで私達に教えてくれれば良かったじゃないの。

敦子 すみません。だけど、それはどうしてもできなかったんです。

野々村 どうして。

敦子 それは……。

野々村 それは？

敦子 だって、そんな情報を私が漏らしたなんてことが分かったら、私、この先、生きていけません。父に顔向けできないし、それに叔母からどんな仕打ちを受けるか……。婚約者もいるし……。だから、だから……私からは絶対にできなかったんです。

彩香 圭ちゃんなら良かったんですか？

敦子 兄さんなら、もう父から見放されてるし、それに、葬儀にも来ないで東京で好き勝手やってるわけだし……。

田村 でも、そもそも、そんな危険な情報、バラさなきゃ良かったんじゃないですかね。

美紀 まあ、それもそうよね。

敦子 亡くなった兄のためにも、どうしても明らかにしたかったです。だけど……だけどこんなんで逮捕されるだなんて思ってた……本当に、本当に、すみませんでした。

美紀 まあ、そんなに悪気があってやったわけじゃないですしね……。

マネージャー とりあえず、小島は無実って、そういうことだろ？

彩香 そうですよ、圭ちゃん無実ですよ。何も悪いことしてないですよ。早く、早く圭ちゃん救い出さないよ。

美紀・田村・マネージャー うん、そうだねそうだね。

彩香 あたし、行って来ます！ 警察に！

浅川 ちよつちよつ、ちよつと待ってください。(彩香の行く手を阻む)

彩香 えっ？ 何ですか？

浅川 ちよつと落ち着きましょう。ヘタに動くと、話が余計こじれます。

彩香 だって、時間ないんですよ。明日、O1グランプリの決勝なんです。こんなことに巻き込まれて、圭ちゃんの人生がどうなったっていいんですか！

野々村 気持ちわかります。ですけど、警察行ってどうするんですか？

彩香 警察行って、圭ちゃんは関係ない、圭ちゃんは何も知らない、無実だって言ってきます。

野々村 そうしたら、どうなりますか？ この妹さんのこと話すんですか？ 秘密を追ってる浅川さん

や私達のことを話すんですか？ そしたら、そしたら、他の人の人生がどうにかなっちゃう  
かもしれないですよ。

彩 香 じゃあ、そのために圭ちゃんの人生がどうなったっていいってことですか？

野々村 そういうことじゃなくて……。

彩 香 じゃあどうということですか？

野々村 できるだけ、穏便に済むように、誰も罪を被らなくて済むように、その方法を考えましよう

ってことですよ。冷静に、落ち着いて。

住 田 とりあえず、座りませんか？ ねっ？

彩 香 ……。(腰を下ろす)

田 村 その、秘密情報っていうのは、どういったもんなんですかね。

野々村 うちの息子は米軍の後方支援部隊として中東に派遣されました。

住 田 私の夫もです。

野々村 小島健さんと同じ部隊だったようですよ。

浅 川 ああー、そういうことですか。

野々村 そして、どちらも、その派遣先で、命を落としました。

美紀

えっ？ 自衛隊に犠牲者なんて出てるんですか？

野々村

すでに五十人以上の自衛官が命を落としていますよ。

一同

ええ……。

野々村

でも一切公表なんてされてません。

田村

なんでですか？

野々村

それは秘密だからです。

浅川

やはりそういうことなんですね。私らがいくら取材しても、秘密秘密、秘密ばかりで、その実

態はまるで見えてこない。公文書の公開を請求しても、出てくるのは黒塗りばかり。データを破棄したとか、シュレッダーにかけたとか……やはり、自衛隊は戦闘地域に派遣されていたわけなんですネ。

野々村

うちの息子、翔太っていうんですけど、二十歳になったばかりで、補給訓練中の墜落事故でなくなつたと、そう聞かされました。私も最初、それ信じて、事故ならば仕方がない、平和のために犠牲になつたんだなあと自分なりに踏ん切りをつけようとしていました。だけど、その遺体がないって言うんです。遺体がないってどういうことだっけって思いますよね。墜落したって、なんか残るでしょう。バラバラになつたとしても、片腕だつて、片足だつていいですよ、なんか、その人の、痕跡が残るものでしょう。それが無いなんて……。私はなんかおかし

いと思いました。いろいろな情報を集めて、同じような境遇の人がいないかどうか……そこで住田さんとも出会ったんですけど、その中で、ついに息子の遺体の写真を見つけました。頭が割れて、体中に銃弾の痕がありましたよ。間違いなく、翔太でした。あれは訓練なんかじゃない。戦闘に巻き込まれたんだ、一目見て分かりました。うちの息子はまだマシな方ですよ。住田さんなんて、もっと悲惨ですよ。

どんな、状況だったんですかね？

……。

あの、差し支えなければ……。

住田 目だけ抉られてたんです。しかも両目。あとは全然キレイなんです。服着たままで血だらけだったんで、致命傷は別のところなのかもしれないですけど、顔はキレイで、目だけ抉られてて、でも顔の輪郭とか、いくつかあるほくろの位置とか全部一緒に、あたしその手に入れた写真をスキャンして、目の部分だけ他の写真の目を合成して、そしたらあの人で……訓練してて誰が目を抉るんだよ、おかしいよって、なんか思わずおかしくて大笑いしちゃいましたよ。

マナージャー ウツ！（吐き気をもよおして） ウェー！！！（と吐く）

田村 マナージャー？

美 紀 ちよつと、大丈夫ですか？

田 村 意外にデリケートっすね。

浅 川 目を抉るって……武装勢力にでもやられたんでしょうかねえ。

野々村 教えてもらいましょうよ。私の息子や、住田さんが、派遣先で一体どうやって殺されたのか。

なぜ殺されなければならなかったのか。そして、小島健さんが派遣先で一体何をしたのか。

転換。

11 取調室（4）健の告白

警視庁の取調室。

ベテラン刑事と新米刑事と小島健。

ベテラン 小島圭、もとい小島健！ お前は一体何をした？

新米 何をした！

ベテラン 何をしたんだ？

新米 正直に言え！

健 人を殺しました。

ベテラン 殺した？

健 たくさん。

新米 たくさん！？

健 はい。

ベテラン なぜ殺したんだ。

健 襲撃されたんです。武装勢力に。

ベテラン 武装勢力？

健 それまで非戦闘地域だった場所が、一瞬で戦闘現場、戦場になりました。

新米 戦場？

ベテラン それでどうした。

健 身を守るために、自衛のために武器をとって応戦しました。身体がブルブル震え、死ぬかもしれないと思いました。初めての戦闘体験でした。幸い、その時は犠牲者は出ませんでした。しかし、その日から眠れなくなりました。いつまた武装勢力が襲ってくるかもしれない。そんな恐怖からものすごく神経が過敏になっていったと思います。少しの物音で銃を構えるようになりました。銃を抱いて横になるようになっていました。だんだん気が変になってきました。このままじゃやられる。やられる前にやってやらなければ！ そう思うようになりました。それから数日後、再び、武装勢力が攻撃を仕掛けてきました。今度は前よりも規模の大きいものでした。

ベテラン それで？

健 それで……。

新米 それでどうしたんだ！

健 目の前を銃弾がかすめ、そこかしこで砲弾が爆発しました。おろおろするばかりの私の傍で至近距離で突如物音がし人影が動きました。

健

反射的に私はそれ目がけて銃をぶつ放しました。その弾は彼の頭に命中しました。まるでスローモーションのように時間をかけて崩れ落ちたその人影に一瞬の光が射し込んだ瞬間、私はやつてしまったと思いました。

迷彩服を着た人影が現れる。

人影が野々村翔太であることが分かる。

健

私が放った銃弾は、私が親しくしていた人物、私が大事にしていたあの彼の後頭部を打ち抜いたのでした。

野々村翔太がその場に倒れる。

健

私はなす術もないまま、その間にも次々と撃ち込まれる銃弾や砲弾の嵐の中で異様な精神状態に陥りました。見境もなく、銃を乱射しました。誰彼構わず無我夢中で打ち抜きました。どういうわけか私は自分が誰を撃っているのか、それはハッキリと認識できました。私のぶつ放す銃弾で仲間が次々と倒れていく。それを感じながらも、止めることはできませんでした。三分、五分、いやそれ以上だったかもしれない。とにかく引き金を引き続けました。「おお

ー！」という雄叫びをあげていました。自分がどういいう状態で何をしているのか、まるで自分で自分を見ているかのようによく分かりました。やがて背中に衝撃を感じ、そのまま意識を失いました。気がつくと、少し離れた所に、数人の武装勢力がいました。その傍らにはロープで縛られた日本人が、仲間の自衛官がいましたが、私は見つからないように、息を殺したまま、身動きせずじっとしていました。早く、早くいなくなれ！ 仲間の無事よりも、そのことを強く願いました。しばらくして、武装勢力は彼らを連れていなくなりました。人の気配が完全になくなりました。ゆっくり起き上がると、目の前には、何体もの仲間の死体がありました。私が殺ってしまったあの彼の亡骸もです。

暗転。

圭のアパートに戻る。

浅川　これが、妹さんからメールで送られた小島健さんの告白です。これとは別に、一つのファイルが添付されてました。それにはパスワードがかけられてまして……。

田村　妹の敦子さんからパスワードが明かされました。そして、その添付ファイルが開きました。

浅川　これは……。

野々村　何なんですか？（そばに寄ってファイルを覗き見る）ああ！

住田　（ファイルを見て）ええっ！

浅川　これはとてもじゃないが、表には出せないでしょうね。

野々村　あっ！ あった！　うちの息子、野々村翔太、二十歳……。

住田　あっ！　うちの人も……ああー……。

田村　そこには、派遣先で命を落とした自衛官一人一人の、死亡に至る経緯が一覧で書かれてました。

浅川　これはどこで手に入れたんですか？

敦子　亡くなった兄のパソコンに残されていました。

野々村　そうでしたか……小島さん、ようやく分かりました。あなた、そりゃあ、こんなもの、あなた自身から、直接私らに送りつけることなんて出来ないでしょうし、これ知ってしまった以上、私たちと顔を合わせることもできないでしょうね。

敦子　本当に申し訳ありませんでした。

野々村　あなたが謝ることじゃないわよ。あなたが殺したわけじゃないんだもの。あなたのお兄さん、小島健さんが、うちの翔太を……。

一同　えっ!?

野々村　それを苦にして、健さんは命を絶つたのよね、きつと。ケジメをつけたのよね。うん、きつとそう、そうだわ。それはもうしょうがない。翔太は返ってこないわけだし……。

住田　うちの人は、やっぱり武装勢力に拉致されたみたいですよ。それで……。

田村　あっ、目？（目を抉られる仕草）

美紀　（小声で）バカッ！（と田村をはたく）

マネージャー　ウツ……。　（吐き気）

敦子

兄は……兄は戦闘の行われてない安全な場所に派遣されたはずなんです。後方支援だから大丈夫、少しでも戦闘に巻き込まれそうになったら退避できるから大丈夫。そう聞かされていはずなのに、それなのに……。私は兄のためにもどうしてもそのことを……。

野々村

問題は、なんで遺族である私達にすら、こんな大事なことが秘密にされて、隠されてるかっ  
てことですよ。

住田

ホント酷すぎます。

野々村

浅川さん、このこと記事にされますよね？

浅川

いや……それは私も気持ちの上ではぜひそうしたいとは思いますが、しかし、これおそらく秘密情報ですから、まあ我々報道機関は、ある程度許容されるかもしれませんが、妹さんは確実に罰せられるでしょうし、場合によっては、野々村さんと住田さんも……。

野々村・住田 ええ……。

野々村

なんで……なんで、そんな、家族が殺されて、その死因を明らかにすることで、なんで罰せられるんですか！

浅川

まあ、不当な方法で情報を取得したと、そう判断される可能性があります。

野々村

何が不当なんですか！

浅川

何が不当かは、政府や行政が決めることです。

住 田 おかしいです。

浅 川 おかしいです。でも、残念ながら、そういうルールなんです。

住 田 でも私達そんなもの望んでません！

浅 川 そうですねえ。私もまったく同感です。ただ、それを望んでいる政治家がいて、そしてそれ

を選んだのは私ら国民です。まあ、もつと正確に言えば、その仕組みですかね。

住 田 ……。

マネージャー あの一、とりあえずですね、もう時間も時間ですし……。

美 紀 あつ、もう四時だよ。

田 村 えつ？ マジかよ！ もう寝ねえと。

マネージャー 圭が無実であるつてことは分かったわけですからねえ……。

彩 香 そうですよ。圭ちゃん、早く釈放してもらいましょうよ。

敦 子 私、自首します。

一 同 えつ？

敦 子 私が行つて、兄を釈放してもらいます。

野々村 ちよつと待つてよ。そんな早まらないですよ。何かもつといい方法があるかもしれないじゃない。

い。

敦子　いえ、もういいんです。

浅川　本当にいいんですか？　おそらく捕まれば、十年以下の懲役刑ですよ。

一同　十年？

浅川　まあ、自首ということでしたら、情状酌量で減刑になるかもしれませんが。

野々村　本当にそれでいいの？

敦子　……。

大島・新島・三宅島がやってくる。

大島　失礼します！

新島・三宅島　失礼します！

マネージャー　なんだお前ら……まだ呼ばれてないだろ！

大島　マネージャー！

マネージャー　なんだよ。

大島　折入ってお話したいことがあります！

マネージャー　えっ？

大島・新島・三宅島　やはり、いろいろ考えた結果、代役はご辞退申し上げたいと思います。

マネージャー ええっ？

大島・新島・三宅島 失礼しました！

大島・新島・三宅島、去る。

マネージャー ええー……。

田村 代役いなくなっちゃいましたね。

マネージャー そうなると、やっぱり小島しかいないかあ……。

美紀 やっぱり圭じやなきやダメなのよ。

彩香 そうですよ、TKFは、田村、小島、藤原なんですから。

敦子、黙って立ち上がり、出口へ向かう。

敦子 私、行ってきます。

敦子、頭を下げて去る。

浅川 やっぱりマズいなあ…… (敦子に向かって) ちょっと待ってください。ちょっと！

浅川、去る。

野々村 行きましようか。

住田 はい。

野々村、住田、出口へ向かう。

住田 野々村さん？

野々村 えっ？

住田 私たち、どうなりますかね？

野々村 ……！

野々村、慌ただしく去る。

住田 野々村さん？ 野々村さん！？

住田、去る。

マネージャー よしっ！ じゃあ、オレらも警視庁に乗り込んでくぞ！

一同 はい。

マネージャー 小島を奪還してくるぞ！

一同 はい。

美紀 あれ？

一同 ん？

美紀 ショウタ君ってどこ行つたの？

田村 あつ、そう言えば……。

マネージャー お前ら、鈍いな……。

一同 ん？

マネージャー ほら、行くぞ！

彩香とマネージャー、去る。

田村と美紀もそのあとに続くが、去り際、ショウタの正体によくやく気づき、驚愕する。  
暗転。

13 釈放

圭が出てくる。

圭 突然、釈放されました。それと入れ替わりで妹が逮捕されました。それはあとになって聞かされたんですけど、なぜ長野の妹が東京にいたのか。なぜ、捕まったのか、それは、その時点ではよく分かりませんでした。

ベテランと新米刑事、出てくる。

ベテラン ったく、紛らわしい真似しやがって……随分と無駄な時間を費やしたもんだぜ！ さっさと失せろ！ このホモ野郎！

新米 このホモ野郎！

ベテランと新米刑事、去る。

圭 ホモ野郎って……それ差別ですよ！ ったく……何のことかと思いました。私はまったくそういう気(け)はありませんし、女の人が好きです。ちなみにタイプの芸能人は○○○○です。

彩香が出てくる。

彩香

やっぱり圭ちゃんはノンケで、ゲイだったのは亡くなった弟のケンちゃんの方だったと、そういうことのようにでした。でももう圭ちゃんがゲイだろうがノンケだろうが、どっちだっていいと思いました。私はただTKFの三人に、O1グランプリで優勝してもらいたい！圭ちゃんに売れてもらいたい！レギュラー番組を持ってもらいたい！それが叶えばいい、もうそれだけでいいと思いました。これはもう、男女の枠を超えた、恋愛を超えた、無償の愛というか、何というか、とにかくそんな感じのものだったんです。

田村が出てくる。

田村

圭が釈放され、喜んでだのも束の間、早速O1グランプリのリハーサルを再開しました。

美紀も出てきて、圭とコントの練習に励む。

マネージャーも出てきて、彩香と一緒に練習を見守る。

田村

本番までの残された時間はわずか五時間。遅れを取り戻そうと、オレら三人はこれまでにないくらい必死になって練習しました。アラフォー芸人の最後のあがきでした。みんな熱かったし、結束も高かった。

美紀

番組サイドには、マネージャーがうまいこと説明して、痴漢の冤罪で誤認逮捕されていたという風な話で落ち着きました。それがかなりの同情を買い、またネタとしてもオイしいということで、出演者・スタッフの感触もすごい良い感じでした。明らかに風はこっちに吹いてました。こりゃイケるかもしれない！優勝できるかもしれない！夢が叶う、そんなことを生まれて初めて実感できそうな、そんな手応えがありました。

圭

そして迎えたO1グランプリ本番。いよいよ決戦の時！

芸人達が出て来て、各々気合い入れや練習などを行う。

圭

しかし、そのままにその本番直前、画面は突然、臨時ニュースに切り替わりました。

SE「ニュース速報」

芸人達、伏せ字だらけのニュースのテロップを読みあげる。

芸人達

ペルシャ湾に展開中のアメリカの巡洋艦が、国籍不明の船舶によって攻撃を受けました。日本政府は「我が国の存立が脅かされ、国民の生命、自由及び幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険がある」として、同じくペルシャ湾に展開中の海上自衛隊■■■■■を■■■■■させ、■■■■■と共に■■■■■からの■■■■■に対して■■■■■し、■■■■■となりました。それにより、自衛隊側に少なくとも■■■■■■■■■■が出た模様です。

伏せ字の部分には「ピー音」が流れ、内容を理解することができない。

芸人達

ん?????

芸人達、少し不可解に思いながらも、気を取り直して練習を再開する。

圭

なんのことやら、よく分かりませんでした。

芸人達、練習を続ける。

瀕死の自衛官が出て来て、その場に果てる。

と同時に、とてつもなく長い「ピー音」が鳴り響く。

それは絶命時の心電図の「ピー音」のようにも聞こえる。

それでも練習を続ける芸人達。

暗転。

了

※伏せ字をとったニュース

芸人達

ペルシャ湾に展開中のアメリカの巡洋艦が、国籍不明の船舶によって攻撃を受けました。日本政府は「我が国の存立が脅かされ、国民の生命、自由及び幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険がある」として、同じくペルシャ湾に展開中の海上自衛隊掃海派遣部隊を緊急出動させ、アメリカ海軍と共に国籍不明の船舶からの攻撃に対して応戦し、戦闘状態となりました。それにより、自衛隊に少なくとも47名の死傷者が出た模様です。

『それは秘密です。』上演台本

作／榎原 拓 (chari-T)

二〇二〇年一月二十三日作成

二〇二〇年十二月十五日再編集

この台本を上演される場合は、左記までご連絡下さい。

劇団チャリT企画

〒一六九―〇〇七五 東京都新宿区高田馬場三―一―五 菊栄ビル四〇二

TEL : 070-6450-4167

メール : [contact@chari-t.com](mailto:contact@chari-t.com)